

# 宮柁二記念館だより

2023.1.31

第 57 号

発行 宮柁二記念館

TEL・FAX

025-794-3800



令和4年度企画展「宮柁二記念館30年のあゆみ」—写真と著作でたどる宮柁二の生涯—

## 「宮柁二記念館30年のあゆみ」 —写真と著作でたどる宮柁二の生涯—

令和四年度も『新型コロナウイルス感染症』とともに過す年となりました。ニュースでは相変わらず多くの感染者が報告されています。にもかかわらず、いつのまにか「行動制限」は消えましたが、感染症法上の「5類」への引き下げも現実味を帯びてきました。新しい生活様式の継続は当然のことでしょうが、ワクチン代から医療費に至るまで自己責任ということになるのでしょうか。宮柁二記念館では、来館者並びに各種事業に際して、身体的距離の確保・換気・体温測定・マスク着用・手指消毒などの対策を継続しています。そして、こうした対策をとりながら、これまで中止としていた企画展開催記念講演会や短歌大会表彰式などを実施いたしました。これらの事業については、動画を公開しています。宮柁二記念館ホームページからご覧ください。

さて、宮柁二記念館は平成四年十一月二十三日に開館し、三〇年目を迎えました。また、宮柁二は大正元年八月二十三日に生まれ、生誕一一〇年です。この節目の年、同時に二つのテーマで展示を行っています。

まず、「写真と著作でたどる宮柁二の生涯」展です。記念館で展示している「宮柁二略歴」に合わせて大小三十九枚の写真パネルを展示しました。小学校卒業式、出征、結婚式、家族、還暦祝、「コスモス」編集部等々、宮柁二の生涯を写真でたどっています。また、書籍五十六種、歌誌四誌を展示しています。たくさんの特装本や手に取って読んでいただける本なども用意しています。宮柁二自身による自作短歌の朗読もお聞きいただけます。

次に、「宮柁二記念館三〇年のあゆみ」展です。宮柁二記念館は、開館以来企画展を二十九回開催しました。そのすべてをポスターで振り返ります。テーマに合わせたこれらの展示以外に、今年度宮家から新たに寄託いただいた貴重な資料を順次展示しています。企画展は開催継続中です。ぜひお訪ねください。

# 「宮柁二記念館三〇年のあゆみ」

## 「写真と著作でたどる宮柁二の生涯」

平成四年十一月二十三日に開館し、三〇年目を迎えた宮柁二記念館。大正元年八月二十三日に生まれ、生誕一一〇年を迎えた宮柁二。この節目の年、同時に二つのテーマで展示を行っています。

### 『写真と著作でたどる』

#### 宮柁二の生涯

昭和を代表する歌人宮柁二は、一九一二（大正元）年八月二十三日に堀之内町で生まれました。宮柁二が生まれてから百十年が経過しました。歌人宮柁二は、ふるさとを愛し、ふるさとの自然や人々の暮らしを詠んだ数多くの歌を残しています。一方、一兵卒として戦争を体験し、「戦争は悪だ」と歌った歌人です。短歌を愛し、宮柁二を慕う多くの人に、そして、短歌も宮柁二もよく知らない人に、改めて宮柁二を知っていただくために、宮柁二の生涯とその業績を振り返ります。



### 「写真でたどる」

#### 宮柁二の生涯

記念館には、これまで「宮柁二略歴」を展示してきました。今回は、その略歴に合わせて大小三十九枚の写真、パネルを展示しました。堀之内尋常小学校卒業、中学時代自画像、出征、結婚式、家族、職場、還暦祝、歌碑除幕式、コスモス編集部、絶筆等々、宮柁二の生涯を写真でたどります。

### 「著作でたどる」

#### 宮柁二の生涯

宮柁二記念館では、毎年開催してきた「企画展」において、様々な視点から宮柁二の業績を紹介してきました。今回は、「著作」で振り返ります。記念館にある膨大な図書資料の中から、歌集はもちろんのこと、随筆・評論・日記・書簡集、さらに短歌入門書・筆墨集・詩画集など全五十六種、一四冊の書籍。加えて、「うつつそみ」「木蔭歌集」「多摩」「コスモス」と柁二が関わった歌誌四種、九冊を展示しています。

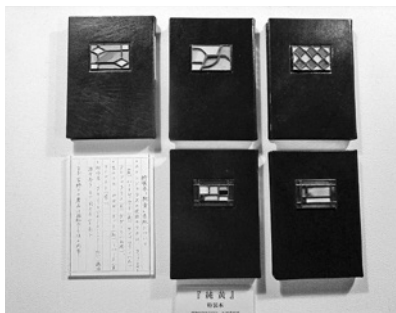


市販された通常の本とは別に、特装本（数量限定で書物の表紙、カバー、外箱などに特に念入りの装丁を施した本）を展示しています。

#### 〈歌集の特装本〉

「宮柁二歌集」（角川書店）・「完本宮柁二全歌集」（立風書房）

## 展示資料から



「純黄」特装本5冊

『純黄』特装本について  
現在記念館では、宮柁二第十一歌集「純黄」の特装本を五冊収蔵しています。  
革張りの表紙に一冊ずつ異なるステンドグラスの装飾が施してあります。五冊のうち二冊には、ステンドグラスの中に宝石がはめ込まれています。記念館の收藏品は、その色合いからガーンネットとアメシストと思われる。この特装本について、英文学者関川左木氏は「我が国書物装幀においても未曾有の装本」（季刊「銀河」1987年第六十九号春文化出版局刊「記念館内に展示」と高く評価しています。



「藤棚の下の小室」(白玉書房)・  
「獨石馬」(白玉書房)・「定本宮  
柗二短歌集成」(講談社)・「純黄」  
(石川書房)・「白秋陶像」(伊麻  
書房)

〈詩・散文の特装本〉  
随筆集「雪の里」(求龍堂)・随  
想集「忘瓦亭日録」(立風書房)・  
自筆歌文集「冬至集」(成瀬書  
房)・詩画集「73東京幻想」(ウ  
ナクトウキヨウ)



今回の展示品は、書籍が中心です。  
展示の仕方を工夫しましたが、やは  
り本は読むものです。そこで、十二  
冊の歌集、コスモス創刊号、宮柗二  
筆墨集、詩画集「73東京幻想」につ  
いては、手に取ってご覧いただける  
ように展示ケースに入れずに展示し  
てあります。

「読める展示」  
・宮柗二歌集  
「群鷄」(青磁社)・「山西省」(古

径社)・「小紺珠」(古径社)・「晩  
夏」(白玉書房)・「日本挽歌」(創  
元社)・「多く夜の歌」(白玉書  
房)・「藤棚の下の小室」(白玉  
書房)・「獨石馬」(白玉書房)・  
「忘瓦亭の歌」(白玉書房)・「緑  
金の森」(短歌新聞社)・「純黄」  
(石川書房)・「白秋陶像」(伊麻  
書房)

・「コスモス」創刊号  
・「宮柗二筆墨集」(立風書房)  
・詩画集「73東京幻想」(ウナッ  
クトウキヨウ)



### 『宮柗二記念館 三〇年のあゆみ』

宮柗二記念館建設構想は、一九八  
五(昭和六十)年十一月、堀之内町(当  
時)の町制施行六十周年記念事業実  
行委員会の場で示されました。そし  
て、一九九二(平成四)年十一月

二十三日に開館  
しました。記念  
館建設に当たっ  
ては、夫人の宮  
英子氏からたく  
さんの資料並び  
に寄付金が寄贈  
され、コスモス  
短歌会、全国のコスモス会員、そし  
て、地元の皆様からも多くの募金が  
寄せられました。

記念館では、企画展・常設展をは  
じめとする様々な展示会を行い、宮  
柗二講座や短歌セミナーなどの講演  
会を開催して宮柗二の業績の周知に  
努めてきました。また、全国短歌大  
会の開催、希望者対象の短歌教室や  
学校へ出向いて行う出前授業の実施  
など短歌の普及活動にも努めてきま  
した。今回は、毎年開催してきた企  
画展のポスターで三〇年を振り返っ  
ています。



## お知らせ

宮柗二記念館オリジナル  
の短歌手帳としおりを作成  
いたしました。記念館で販  
売しています。お送りする  
こともできますので、ご連  
絡ください。歌集なども販  
売しております。詳細につ  
きましては宮柗二記念館に  
お問い合わせください。

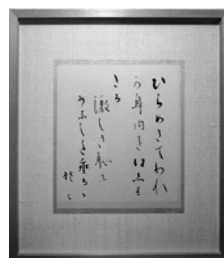
・宮柗二記念館オリジナル  
短歌手帳(青・緑)、木製  
しおり  
・宮柗二ふるさとの歌写真  
集「宮柗二のふるさと」  
・宮柗二アルバム  
・宮柗二歌集  
・宮柗二記念館全国短歌大  
会歴代選者歌集 等



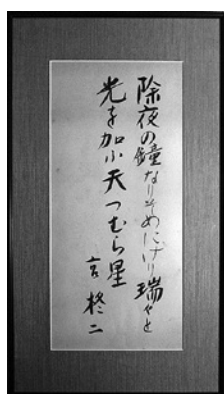
オリジナル短歌手帳・しおり

## 「宮家からの新たな寄託資料」

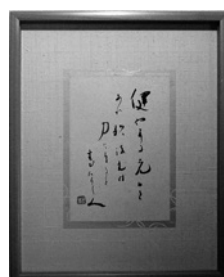
宮家から新たに寄託いただいた資料のうち七点を順次展示しています。  
九月から十一月まで展示した「静夜思」は収蔵資料紹介欄をご覧ください。



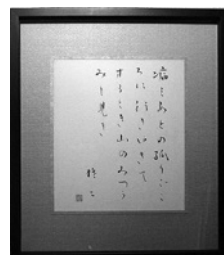
6月から9月に紹介した作品



12月から1月に紹介した作品



2月から3月に紹介する作品



## 宮柁二記念館収蔵資料紹介

No.57



### 「静夜思」 柁二直筆

書き下し文

疑うらくは是れ地上の霜かと  
頭を擧げて山月を望み  
頭を低れて故郷を思う

「静夜思」は、中国唐時代の

詩人李白の五言絶句です。

### 「宮柁二記念館友の会」のお知らせ

宮柁二記念館の活動支援と会員相互の交流を目的とする「宮柁二記念館友の会」の会員を募集しています。会員は、宮柁二記念館への入館料が免除されます。また、記念館だより等が届けられます。

年会費は1,000円です。詳細は、宮柁二記念館にお問い合わせください。

### 「宮柁二記念館短歌教室」のお知らせ

宮柁二記念館では、「コスモス」選者橋芳園先生を講師として、短歌実作講座「宮柁二記念館短歌教室」を開催しています。四月・八月・十二月を除く年九回、原則として毎月第二日曜日に宮柁二記念館に隣接する堀之内公民館で開催します。年度途中からの参加、添削のみの参加も歓迎します。

年会費は3,000円です。詳細は、宮柁二記念館にお問い合わせください。

### 「短歌大会入選作品集」のお知らせ

宮柁二記念館では、毎年実施している「宮柁二記念館全国短歌大会」の入選作品集を作成しています。令和四年度・第二十八回短歌大会の入選作品集は、宮柁二記念館や魚沼市内の公民館等で入手できます。過去の作品集についても年度によっては若干の余裕があります。ご希望の方は宮柁二記念館にお問い合わせください。

宮柁二記念館だより 第57号

発行 2023. 1. 31

問合せ 宮柁二記念館 (〒949-7413 新潟県魚沼市堀之内117-6) TEL・FAX 025-794-3800

メール miya-museum@city.uonuma.lg.jp ホームページ <https://www.city.uonuma.niigata.jp/miyashuji/>